

ソウルの山は、晴れわたっていた —むくげ九里フィールドワーク番外編—

(『むくげ通信』283号、2017.7.30)

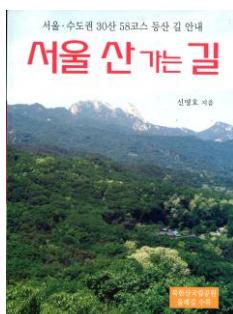
飛田雄一

九里フィールドワーク (FW)、宮内秋緒さんのガイド／手配のおかげでとても充実したものでした。宮内さん、ありがとうございました。

今回は、ソウル東大門東横イン 6/2（金）午後 6 時集合+宴会、翌 6/3（土）午前 9 時同ホテル集合+出発と、比較的ハードルの低い現地集合でした。前回の「群山***モーテル集合」よりは簡単でした。来年はよりハードに、忠清南道・洪城***モーテル集合なんぞはどうかなと考えているきょうこの頃です。さて、洪城にはなにがあるのでしょう・・・。



往路 5/31、関空から濟州航空でソウルに向かいました。関空のカウンターには、「預け荷物 15 キロ、持ちこみ 10 キロ」とあります。客のなかにはトランクをあけて 15 キロを越える荷物を出している人も。私は 10 キロほどの荷物だから楽勝だとタカをくくっていました。が、私のチケットは荷物を預けられないチケットだというのです。往復 16,470 円の安いチケットがわざわいした。4000 円払って荷物を預けた。登山ストックなどを持参したので機内持ち込みは無理だったのです。



に行く道—ソウル・首都圏30山58コース登山道案内』を買いました。これでもいいがやはり一枚物の登山地図が欲しくて永豊文庫までいってゲットしました。これが最高！ A3版両面で北漢山、道峰山等13の地図

が入っていて、紙には防水加工もしています。その一部が以下のものです。(北漢山)



さて、九里 FW の前後に私はソウルの山を 3 つ、登りました。6/1 北漢山、6/2 道峰山、6/4 南漢山城です。いずれも天候にも恵まれた最高のハイキングでした。山の高さはいずれも六甲山より低いのですが、なかなかのハードなハイキングがありました。

ここで問題！ 北漢山城、南漢山城が、独自の山城だといふことをご存じですか？

私は、ソウルの城壁の一部だと思っていたのです。しかし実際はそうではなくて、北漢山城8キロ、南漢山城11.7キロの独自の山城がつくられていたのです。

北漢山、それは私が一度は登らなくてはならない山だったのです。今でも私がNHKの最高のドキュメンタリーだと考えている「朝鮮人B級戦犯問題—『チヨウムンサン（趙文相）の遺書』」（1991.8.15）に北漢山ができます。

アジア・太平洋戦争の時期に連合国軍捕虜への虐待行為が戦争犯罪として立件されていますが、捕虜監視員となった朝鮮人も 129 名が有罪判決をうけうち 14 名がシンガポール、チャンギ刑務所等で死刑に処せられています。

そこで処刑されたうちのひとりがチョウ・ムンサン（趙文相）で、日本名・平原守矩。1947年2月、チャンギー刑務所で絞首刑となったのです。享年26歳。日本人上官の命令を捕虜に伝える通訳だったため捕虜の憎悪を人一倍集めたと言われています。獄中で彼らは、処刑の数分前まで心の揺れを長文の遺書に綴っていますが、その中に「北漢山頂・白雲台に刻んだ私の名前は今も残っているのだろうか・・」という部分があるのです。映像では現在の北漢山の岩山が映し出され、そこに落書きされたハングルもでてきます。その岩山がほんとに印象的なのです。

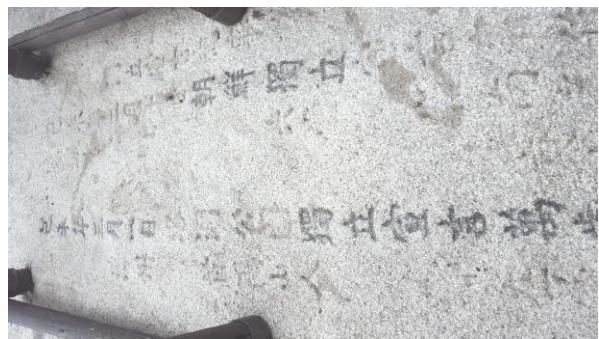
彼の裁判記録がオーストラリア公文書館にのこさ

れていたこと、死の直前まで書いていた「遺書」を友人たちが書き写して持ちだしていたことがドキュメンタリーで紹介されています。

裁判で捕虜虐待を否定する趙文相にたいして、彼がクリスチヤンであることを問題として、最後には日本軍の教えと聖書の教えのどちらが優先するのかという質問をしているのです。日本軍のなかで聖書の教えを優先させることはできなかった、日本軍で日常茶飯事だった「びんた」をしたことが暴力であるといわれるのなら暴力をふるった、というやり取りから有罪／死刑となったのでした。(※DVD500円、送料ともで配布可。)



地下鉄3号線でクバパル下車、②出口からでてバス34または704でヒョージ洞下車。登山のスタートだ。北漢山最高峰・白雲台863Mまで、結構登る。後半はきつい登りが続く。本当に岩山だ。山頂に1919年に掘られた独立記念碑にもびっくりしたが、ネコがいたのにもびっくりした。



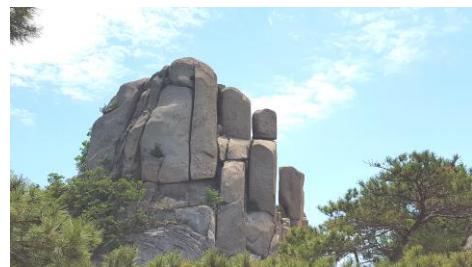
二つ目は道峰山。北漢山の東側にあって、北漢山国立公園の一部となっています。地下鉄1号線道峰山駅①出口から歩き始めます。駅近くにはスポーツ店がならび韓国ハイキングの定番・キュウリも売っています。私も買いました。ここも急坂が続きます。740Mですが、けっこう大変な山です。頂上の岩の上でご飯を食

べました。見晴らしは素敵ですが、こわいのです。となりで、平気でマッコリを飲んでいる人もいましたがが・・・。

山を下り東大門の東横インにもどり、ひと風呂浴びてから最初の公式行事(前夜祭)に参加しました。



道峰山での昼食、200Mほどの崖になっている



道峰山にはスヌーピーが、いました

3つ目の山が南漢山城。以前、車で来たことがあります、登山は始めて。平日にもかかわらず地下鉄の駅(駅名失念)にはたくさんの登山客がいます。その一団についていたら、その集団がいつの間にか目の前から消えて迷ってしまった。でもそのうち登山口にたどりつき山城に登りました。平日なのに登山客が多いのです。山城には弁当屋、酒店も多く、マッコリ宴会をしているグループもありました。この日も快晴で、ソウルの街がよく見えました。映像をFacebook(飛田雄一で検索)にアップしておいたのでぜひご覧あれ。



快晴の南漢山城よりソウルの街をながめる



付録に有益情報ひとつ。台湾語と日本の地図をゲットすると便利だ。私たちは地下鉄の駅の漢字名が知りたいが、これがあるとほぼ分かるのである。(北京語より台湾語の方が分かりやすい)